

む



む

むかししばはらいま  
昔芝原今は街

ひばりが丘の

ろくどう  
六道の辻

ひばりが丘の今昔

芝原とは、市内では相模が丘、広野台、小松原、ひばりが丘地域をさしています。

このあたりは相模野台地の一部で、一面の原野と一部山林でおおわれ、江戸時代から周辺の村人たちが共同で利用していました。本格的な開拓が行われたのは明治時代中ごろからで、昭和三十年代終りごろに工場ができればじめると、これにともなって街がつくられました。

ひばりが丘のほぼ中ほどにある六道の辻（六つの道が集まっている辻）周辺には、お店などが並んでいます。

む